

読者のページ  
郵便くしまにあ



このページは読者の皆さんからの声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

毎月のおかむん市を  
楽しみにしています

●風鈴さん

毎月のおかむん市を楽しみにしています。口蹄疫で2カ月お休みだった時は少しさみしい気がしました。

毎回いろいろな工夫をされていて、先月はカプトムシの抽選で、夏休み中の子どもたちもとても盛り上がっていましたね。いつも朝市で朝食をとったり買って自宅で食べたりしていますが、今では口にすることのできない串間病院近くにあった「れい」のチャンポン、「スーパリー瀬治山」の唐揚げ、天ぷら、「サンレモ」のケーキなど、復刻できないものかと思う、ペンをとりました。ぜひ、また食べたいものです。

口蹄疫の終息宣言を受けて、

よかむん市も復活。以前にも増して活気が増しています。実は僕も「れい」の大ファンでした。高校生のころ土曜日の授業が終わるとたまに、友だちと「れい」に行つてチャンポンかカレー焼き飯を食べるのが楽しみでした。高校卒業後就職して、昼食を食べに行つたら、すでに閉店。とっても残念な気持ちになったことを思い出しました。本当に復活しませんかね。また食べたいなあ。

ハッピーな気持ちを  
ありがとう！

●T・Tさん

通勤途中に都井中学校があります。掃除の時間なのか、毎朝数人の生徒が校門付近に立っています。通る車に気持ちの良いあいさつとともに頭を下げてくれます。

れつつあるというカラオケ喫茶文化。さらに広がっていくといいですね。

今年も稲刈り

●あきなお母さん

今年も稲刈りで田んぼの仕事をしました。わが家はいつも掛け干しです。時間がかかります。稲刈りはいつもの年よりうまくいきましたが、その後天気が悪くなかなか脱穀ができず、お盆はずっと夕方に脱穀をしました。おいつ子もゆつくりしようと宮崎へ帰ってきたのに、手伝ってくれました。

「元氣」「やる気」「勇気」「根氣」をいっぱい貯金して、来年は今年よりも夏の暑さに負けないうようにして、感謝の気持ちをたくさん持つて収穫。9月の広報を見てたいへん学びました。ありがとうございます。

9月の広報紙、「学校へ行こう」で紹介した北方小学校の記事。子どもたちが地域の方々の協力により、自分たちで田植え、手入れ、稲刈りまで体験することで、自然の恵みや、地域の皆さんへの感謝、雑草取りなどをしてくれた児童への感謝、たくさんの方々の感謝の気持ちを養っているようでした。

朝からハッピーな気持ちになります。ありがとうございます！

気持ちの良いあいさつで、朝からさわやかな気持ちになれますね。やっぱりあいさつは大事です。僕も都井中学校の生徒さんたちを見習わなければと思いました。

口蹄疫終息、  
ご苦労さまでした

●大阪府八尾市・串間大好きさん

以前は「ふるさとはどこですか」と聞かれて「宮崎です」と言えば「寒いところですね」と宮城県とよく間違われています。日本に宮崎という県があるとは思われていないようでしたのでわたしはいつも「鹿児島県」と言っていました。東国原知事が就任して宮崎県も有名になりうれしいことです。

夫婦いたわり  
余生を過ごそう

●百野達夫さん

朝起きたら最初に日めくりカレンダーを一枚引き抜く。このカレンダーには、毎日暮らしの中のことが載っているのを楽しみである。そのことわざに「なるほど」と相槌を打ったり「そんなものか」と感心したりしている。

7月18日のカレンダーには「舟は帆でもつ、帆は舟でもつ」とあった。舟は帆があればこそ役に立ち、帆も船があればこそ使われることになる。人は互いに助け合つてこそ生きていけるということの例えである。

これは夫婦の人生航路にも当てはまる。舟を夫、帆を妻とする。舟は年数がたてば腐食して水漏れする。帆も長年使用すれば傷んで破れる。人が歳を重ねると病気がちになるのと同じ。夫婦は喜怒哀楽を分かち合い、漏れ出した水はくみ出し、破れた帆は修復して余生を仲良く航海したい。

なかなか深いお話です。僕もこのお話を心に置き、これからの人生を夫婦で喜怒哀楽を分かち合いながら、過ごしていきたいと思えます。

その県に口蹄疫が発生し「串間は大丈夫だろうか」と思っていました。牛を亡くした農家の人は子どもと別れるくらい辛かったと思います。皆さんが頑張ってくださいとおかげで終息し「よかったな」と安心していきます。皆さん頑張っていたら御苦労さまでした。ありがとうございます。

宮崎県を襲った家畜伝染病「口蹄疫」。畜産農家の皆さんをはじめ、大勢の関係者や市民の皆さんの懸命な活動により、なんとか終息させることができました。これから畜産王国宮崎の復興に向けて、まだまだ苦労は絶えないでしょうが、県民一丸となって頑張っていきたいと思います。県外の皆さんも応援よろしくお願いします！

お互い交通ルールを  
守りましょう

●因数分解君

わたしたち5人ファミリーは平成18年3月末に父母の扶養などの事情で串間に帰省しました。同年の7月ころにとある交差点で、わたしは青信号になり車両を発進しました。すると交差点内で急に60歳くらいの女性が運転する軽トラックが、ウイン

カーも出さずに進路変更し、わたしの車両に急接近してきました。わたしの車両には母も乗っており、相手の軽トラックに注意のクラクションを鳴らした。相手の人は無反省の様子。やはり2人乗っていました。交通ルールはお互い守りましょう。

カラオケ喫茶文化を  
定着させたい

●昭和の歌さん

串間で生まれて中学1年まで住んでいました。その後都会に50年近く住み、ようやく2年前にUターンしてきました。帰ってきた印象は串間の町が全然進歩していないというか、発展してないというか、そんなちよつぱり残念な気持ちを持つたものでした。昔の友人たちに会いましたが、パワーがないというか、オーラがないというのかそんな印象でした。わたしは現在、駅前でカラオケ喫茶を立ち上げて約1年が過

おたよりお待ちしております ◎この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、医療講座に関する質問、串間市への思い、あなたの身近な出来事、何でも好きなことを書いてください。 ↓点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

**市民憲章**

わたしたちは、

1. 豊かな自然を大切にし、これをいかしましょう。
1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明るいまちをつくりましょう。
1. 健康で働くことに誇りを持ち、豊かな住みよいまちをつくりましょう。
1. だれにも親切にし老人をいたわり、子どもに夢と、しあわせをあたえましょう。
1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

◎市の木/そてつ ◎市の花/かんな  
◎市の鳥/めじろ ◎市の花木/山桜  
◎人口 20,390人 (前月比 -7)  
男 9,336人 女 11,054人  
世帯数 8,781世帯  
(平成22年10月1日現在)